

QFN通信

Qshu Forest Network News

NPO法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 理事長 佐藤宣子

QFN通信第4号をお届けします。本通信がお手元に届く頃には、ワールドカップサッカーも開幕され、ビールがおいしい季節が到来していることと存じます。本号では、第5回フォーラム報告の他、各地で予定されている夏のイベント、そして福岡市で開催する次回フォーラムの案内などを掲載しています。

第5回九州森林フォーラムには多数の会員の皆様にご参加いただきまして、有り難うございました。お陰様で、上津江の旧役場庁舎が久しぶりに人でいっぱいになり、「熊本山仕事仲間の会」の皆様の協力もあって、九州の「きやどん」達を繋ぐことができたことと喜んでます。遠くから足を運んで、すばらしい講演をして頂いた速水亨さんにも重ねてお礼申し上げます。

一方、今年度は林野庁の施策において、「新生産システム」政策が登場し、国際競争に打ち勝てるような木材流通と林産業の再編、大規模化が図られようとしています。全国11地域で事業化が決定しており、そのうち4地域が九州です。B材価格の底支えになるのか、逆に低価格を固定化することになるのか・・・今後、山側にはもちろんですが、木材流通や製材業界、更に住宅産業にも大きな影響が予想されます。森林環境を守り、良質な家造りの普及を目的とする当会としても、新しい政策がどのような影響があるのかを注視し、情報発信すべきだと考えています。HP内のブログ上でも議論していきたいと思っておりますので、コメントを自由に付けて下さい。

今後とも、会の運営にご協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」

第4号 since2005.6.1

発行日 2006. 6. 1

<発行>

NPO九州森林ネットワーク

本部：大分県日田市上津江町

<編集責任>

宮崎・諸塚オフィス

<担当オフィス>



目次

森を守るきやどんにエール を！九州森林フォーラム	2~3
Blogぶるぐブログ	4
会員Web訪問④	5
サテライトNEWS 気になる木になる情報	6
ネットワークオフィス名簿 会員募集案内	7
第6回九州森林フォーラム のお知らせ	8

フォーラムの報告 ～森を守るきやどんにエールを！第5回九州森林フォーラム

第5回を迎えた九州森林フォーラムは4月14日、15日の二日間に渡って大分県の上津江町にて開催されました。今回は「きやどんの論楽会～森林を守る！～」と題し、山で働く「きやどん（日田地方では山で働く人々と呼ぶ）」と今森林では何が起きているのか、きやどんたちは何を求めているのか、町では何をすべきなのかなどの森林づくりについて多くの方の意見を聞くことができました。

〔第1日目 4月14日 金曜日〕 参加者67名

○現場見学会○

(株)トライ・ウッドの林業作業現場の見学をしました。林業機械による伐倒、枝打ち、造材、搬出の一連の作業工程を見学した後、同社の藤川氏からトライ・ウッド式作業システムの説明がありました。



○モデルハウス・工場見学○

トライ・ウッドの加工製品を使用した「津江杉の家」モデルハウス3棟の見学後、トライ・ウッドの製材工場及び加工場の見学も行いました。

〔第2日目 4月15日 土曜日〕 参加者147名

○基調講演○ 速水 亨氏（速見林業代表）

「美しい山林を育てる～地球環境時代の林業経営の新しい方向～」

三重県で環境に基づいた森林管理・経営を実行しておられる速水亨氏を講師にこれからの森林経営のありかたや、速見林業の山づくりについて、更には世界的森林認証であるFSCについてなど、林業経営についての講演でした。



林業経営とは地球環境を維持していくための森林管理であること、そのためには安全で、合理的な作業を行うことが重要となってくることなど経験に基づいた具体的なお話を聞くことができました。

○パネルディスカッション○

コーディネーター 佐藤宣子（九州大学助教授）

パネリスト中村和彦（熊本・山仕事仲間の会・球磨村森林組合）

橋本伸哉（速見林業(株)社員）藤川靖治（(株)トライ・ウッド）

土井裕子（NPO法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク理事長）

コメンテーター 速水 亨（速見林業代表取締役社長）



山づくりにおける施業の合理化・コストダウンについて、また環境への配慮についてどのように感じているのかということから端を発してディスカッションが行われました。また山側からまちへの情報発信について、更には山で働く人たちのモチベーションの維持についてなど論議は深まり、「まちと山々を結ぶ」ということについてさまざまな観点からの意見を得ることができ、一般参加者からの活発な意見も含めとても充実した内容の論楽会になりました。

フォーラムに参加して

★九州の森林は大規模製材工場を中心とした大量の木材流通と一部では地域材として顔の見える家作りの少量多品種の流通の両極を求めている。森林を愛する気持ちが強いほど大量流通には反論があると思うが、こちらの流れはすでに動き始めている。人々はどちらを選択するだろう、山側にとっては難しい選択である。（基調講演講師 速水亨様）

★なかなか尾鷲以外の林業を見たり知ったりする機会が少ないので、大変興味深いフォーラムでした。また熱意ある九州の山にかかわる人たちと話せて大変勉強になりました。今後、九州の“きやどん”に負けないよう速水林業、そして尾鷲林業の一員として頑張っていきたい。

（パネリスト橋本伸哉様）→

→★会場の林業従事者の女性からの「毎日作業をして帰って寝て、また次の日には同じ事を繰り返す、そんな毎日が続いて日々の変化がない。モチベーションの維持が大変だ」という意見に共感しました。日々の仕事ひとつひとつに、自分は何のためにこの仕事を行っているのか、ふと疑問に思ったりするのは参加された皆さん同じなのではないでしょうか。（一般参加者）

主催者より

★拙い司会でしたが、速水さんやパネリストの皆さん、会場の皆さんのご協力で何とかコーディネーターを務めることが出来ました。どうも有り難うございました。

速水さんの基調講演からは、環境に配慮した林業の確立には、国民に説明責任を果たしうる林業経営者の計画段階での役割の大きさを改めて感じました。

パネルディスカッションでは、環境配慮の林業経営を推進する上で働き手の役割、特に情報発信をすることの重要性について焦点をあてて議論しました。しかし、そのために後で考えると次の重要な2点を看過してしまいました。本誌面を借りて、まとめの追加をさせていただきます。

一つは、全国的にみると活発な九州の木材生産を支えている「きやどん」達の労働条件の低さについてです。木材価格の下落は、労働者の給与水準の低下などにもしわ寄せされている実態があり、そこにメスを入れないと、森林資源の循環的な再生産ができないことです。ちなみに、パネルディスカッションで質問された女性「きやどん」Mさんの昔の職場に伺ったことがあります。そこでは熟練労働者の日給が7,500円（女性は5,000円）、班長手当が50円（時間当たりではなく、1日当たり！）という実態でした。

もう一つ、パネリストの中村さんから出された「自分が伐った間伐材が木材価格を下げることになっているのでは？」という点についてです。どのくらい間伐材生産が影響しているのかは計量的な分析が必要です。確かにB材比率を高めているし、特に間伐補助金との関係で年度末に出材が増加して価格を下げていると言われています。しかし、間伐は必須ですし、計画的に毎年どの程度出材されるかを把握して、その販路を確保するのは森林組合など事業体の役割です。更に、木材価格を引き下げている主要な要因は、無垢材から集成材へとシフトしている需要側の構造変化、更には再造林計画がない無秩序な皆伐の増加というもっと大きな問題があります。山側が価格交渉力をもつには、適切な森林施業を担保しつつ、計画的な素材生産を行うこと、そして無秩序な伐採木材とは分別して販売する（これが森林認証の意義）ことだと思えます。

（理事長 佐藤宣子）

★世界的に環境問題が話題になっていますが、各地域で環境保護のための目的税が創設されつつあります。しかしながら環境にとって注目すべき森林においては、重要性は言われつつも荒廃の一途であり、森林の持つ多面公益的な機能が充分発揮できない状況で補助金をもってしても日本の森林が良くなる有り様に対して疑問が投げかけられています。

多くの人々は森林の保全が大事だとある程度は理解はしているものの、川上の山側において何がおきているのか、何が出来るのかお互いに理解できていないのではないのでしょうか。このような現状をふまえ、日本で初めてFSC森林認証を取得された速水林業代表速水亨氏をお招きし、環境と林業そして働き手の役割についての基調講演をいただき、森林管理作業の第一線で仕事をしている方々にご出席頂き、環境に配慮した作業システムづくりとネットワーク形成に向けたディスカッションを行いました。

環境問題から社会的に注目され、期待感を持たれている林業の今後のあり方！について、今回のフォーラムが、将来に展望を見出す為の模索の場であり礎の場となることを願っております。

（副理事長 北里耕亮）



先日、山国川流域森林組合が、これから家を建てたいと考えていらっしゃるお客様や、地元工務店の職人さん達を招待して、山や製材所、共販所などの視察ツアーを行った。

お昼、森林組合職員みなさんの手作り「シシ鍋」をご馳走になりながら、こんな話を伺った。

「私たちには営業力がありません。下手なんです。だからこうやって、少しずつでも場を踏んでいかないと・・・」

エライ！スゴイ！ 私は感動した。

実は今年の10月「大分生活文化展」にコロコロBOXと積木BOXを出展したのだが、見に行ってくれた業者さんや親戚たちにこう言われた。

「桑野さんだから正直にいいますね。あのディスプレイや接客の雰囲気には、商品を見ようという気になれませんでした。」

大分生活文化展に関しては、私の仕事の範疇ではなかったので全くタッチしていなかったのだが、このコメントは、かなりこたえた。

しかし今、組合職員自身が「自分達にはもっと営業力・接客力が必要だ」と気付きはじめています。

何よりも、この「気付き」が大切だと思うし、全てのスタートだと思う。

森林組合さん、一緒にコロコロかついで、いっぱい接客しましょう！いっぱい恥じをかきましょう！で、ガンガン営業力つけましょう！！

「気付き」の大切さ

(桑野/大分)

他人ごとではなく、自分の問題として気付くこと。全てはここから始まるのかもしれませんがね。これからはコミュニケーション力が地域を分かつことになるのでは・・・山国川流域森林組合がコロコロボックス販売で何を獲得していくか、注目しています。

(佐藤/福岡)

先日、家具の配達に行ってきた。天気予報では、雨の予報だった。

前日に電話して「配達日、お客様に変更していただけますでしょうか？」と言おうか、何度か迷った。でも、山国川流域森林組合からは何の連絡も無い。連絡が無いということは「心配いらない」と、ということなのだろう。

感動しました！雨の配達

「配達中にキズをつけるのが心配ですから、宅配ではなく自分で持っていきます。」と言っていた森林組合のUさんが、トラックに乗って時間通りにやってきた。

お客様の家の前でトラックの荷を解く。ロープ結びの丁寧さに「絶対雨に濡らさないぞ」という加工場の皆さんの意志を強く感じた。家具も一つ一つ丁寧に緩衝材でラップされている。

丁寧がゆえに荷解きに手間取っていたら、お客様が「手伝います。」と笑顔で雨に濡れながらヒモを解き始めた。奥様が「濡れますから。」と喋って傘をさしかけて下さった。

家具の出来栄も良かった。森林組合の村上さん、いつも丁寧な仕事、ありがとうございました。

山国川流域森林組合さん、コンサルとしての私の役目はもう終わりました。

もう十分です。

(桑野/大分)

<コロコロボックス>

M K P <http://homepage2.nifty.com/mkp/info.htm>

山国川流域森林組合 <http://yamakuni-kawa.main.jp/index.htm>

今回紹介するのは、北九州市の嶋崎健一理事の建築会社のWebです。

北九州市内を中心にログハウスやポストアンドビームの木をふんだんに使った家づくりをしています。

ログハウスのセルフビルドのすすめを紹介したり、子供向けの体験学習の様子も掲載しており、嶋崎理事の活動のは場の広さを感じさせます。

また、レトロ調でどこか懐かしさを思い出させるマリンランプを紹介した『ランプの灯』コーナーや自宅をもっと楽しくする『システムウッドデッキ』のご案内、3坪ログハウスの限定販売コーナーもあります。

おすすめは、「自然が我が家にやってきた！」オリジナルカレンダーで、ウッディ工房のオリジナルカレンダーが毎月掲載されていますので、ダウンロードすれば、木の家の写真付きカレンダーが作れます。

是非おためしください。

モデルルームもありますので、北九州においでの際は是非お立ち寄りください。

地産地消の「五感で感じる家づくり」をモットーにしています！



九州森林ネットワークのBlog

NPO九州森林ネットワークの「山と緑の最新情報」Blog。環境教育、緑の雇用、Uターン、ワーキングホリデー、山のつばやき、自然派住宅、室内環境etc…。九州の山と街のリアルタイムの情報が満載です。是非ご覧ください。 <http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

林業経済学会・研究会「再造林放棄地の現状と対策」

日時：平成18年8月24日（木）～25日（金）

場所：熊本県球磨村

座長：枚田邦宏氏（鹿児島大学）

報告者：長島啓子氏（九州大学森林計画学研究室）

「南九州における再造林放棄地の現状」

三原義之氏（熊本県農林水産政策課）

「『皆伐後の植林未済植地の解消に向けたアクションプログラム』

（熊本県）の概要と取り組み」

犬童義一氏（球磨村森林組合）「放棄地へのボランティア植林の連携体制と課題」

日程：24日午後1時 現地見学会（熊本県球磨郡球磨村、球泉洞前に集合）～交流会

25日午前9時半～午後3時 研究会

場所：見学会～球磨村森林組合球泉洞前集合

研究会～球磨村新センター森林（球泉洞入口横）

宿泊地：球磨村休暇村バンガロー

費用：全日程参加：1泊3食（懇親会代含む） 社会人11,000円、学生6,500円

研究会のみ参加：昼食、資料代 1,000円

参加申込：詳しくは：<http://www.kyusendo.jp/index02.htm>

締切：7月末日

九州大学/池江（E-mail ikee@ffp.kyushu-u.ac.jp）



気になる情報・木になる情報

国際環境NGOのF o E J a p a n等が主催する木偏のサミットに代表で参加してきました。

【サミットの開催趣旨】

全国各地で森づくりに取り組む団体や、近山の木で家を作る運動をしている団体、海外の森林問題に取り組む団体などさまざまなグループが各地で森林や林業、木材、木造住宅に関する活動を展開しています。

しかし、それらグループの横のつながりはまだまだ希薄で、情報が共有できていないように思われます。そのため、活動の輪を拡げたり、活性化を図ったりといったことが思うように進められないグループも多いのではないのでしょうか。

一方、森林や林業、木材、木造住宅などに関心を持ち、それらについて勉強したり、あるいは何かしらの貢献をしたいという一般市民・消費者も、自分がイメージする活動や催しを探し出して参加するためには、いくつものホームページを渡り歩いたり、多数の雑誌・新聞に目を通したりしなければ必要な情報を入手することができません。

そこで、まずは「木」に関するグループが情報を共有したり、あるテーマについて議論したりすることができるようにするためのゆるやかなネットワークを作り上げよう、そのための話し合いをしようというのが今回のサミットの趣旨です。そして可能ならばサミットの議論を踏まえ、実際にネットワークを立ち上げて情報交流をスタートさせるとともに、各参加団体が主催する催しなどの情報を一覧できるシステムを構築して、一般市民・消費者がそうした情報を簡単に入手できるようにしたいと考えています。

当日は、基調講演から事例発表、グループワーク、全体討論と、朝10時から5時過ぎまでびっしり。要するに全国にある団体の横のネットワークを深めようというサミットでした。

NPOとしていくつかの団体の方と意見交換ができたことは収穫だったと思います。それにしても朝4時から夜中12時までの日帰り東京はきつかった～（北里/小国）

九州森林ネットワークオフィス一覧

<本部>大分・上津江 (株)トライ・ウッド内 TEL0973-55-2657 0973-55-2323
〒877-0311 大分県日田市上津江町大字川原2810-1 info@try-wood.com

<サテライトオフィス>

福岡(理事長):佐藤宣子 九州大学大学院農学研究院内 TEL092-642-2876 092-642-2877
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 sato@ffp.kyusyu-u.ac.jp

熊本・小国町森林組合内 TEL0967-46-2411 0967-46-5474
〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原1802 oguni@galaxy.ocn.ne.jp

宮崎・諸塚村産直住宅推進室事務局内 TEL0982-65-0178 0982-65-0189
〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068 ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

福岡・久留米:西村敏彦 西村工務店 TEL0943-72-2256 0943-72-3996
〒839-1234 福岡県久留米市田主丸町豊城585 info@morino-ie.com

鹿児島:村田義弘 自然木 TEL099-812-5701 099-812-5701
〒892-0023 鹿児島市永吉町2-29-3 jinenmoku@nifty.com



長崎・大村:岩本清彦 (有)公方建設 TEL0957-53-1142 0957-53-9532
〒856-0048 長崎県大村市赤佐古103-4 iwamo@kubou.com/

沖縄:小渡勝也 (株)幸和 TEL098-936-9231 098-936-2667
〒904-0102 沖縄県中頭郡北谷町字伊平417-1 odo@tokukei.com

福岡市 川崎建築構造設計事務所内 TEL092-574-8544 092-574-8545
〒811-1303 福岡市南区折立町3-7-206 kawa2892@joho-fukuoka.or.jp

北九州市:(有)ウッデイ工房内 TEL093-692-5430 093-692-1975
〒807-0875 北九州市八幡西区浅川台1丁目5番 k-shimasaki@woody-koubou.com

大分市:三浦逸朗 ミウラクワノパートナーシップ(有)/プラス・エコ TEL097-504-3087 097-504-3088
〒870-0901大分市西新町1-3-5サンビル1階 RXA04312@nifty.ne.jp

北九州市:(株)安成工務店内北九州支店 TEL093-475-2323 093-475-2335
〒800-0226 北九州市小倉南区田原新町2丁目4番1号kitakyusyu@yasunari.co.jp

熊本・八代:球磨川ライン木の家ネット TEL0965-35-8430 0965-35-8431
〒866-0081 八代市植柳上町683-5 (株)井本工務店内imotokmt@vesta.ocn.ne.jp

佐賀:三原ユキ江 (株)三原建築設計事務所内 TEL0952-22-0051 0952-22-0054
〒840-0041 佐賀市城内1-10-30 mh_yukie@hotmail.com

事務局から会員募集および更新のお知らせ

2年度目の会員の更新手続きと、年会費のご入金を頂きまして、ありがとうございます。
新規に入会をご希望の方、まだ更新がお済みでない会員の方もよろしくお願ひ申し上げます。

NPO九州森林ネットワーク事務局 大分県日田市上津江町(株)トライウッド内
TEL0973-55-2656 Fax0973-55-2323

★第6回森林フォーラム in 福岡のお知らせ★

九州森林ネットワークのオフィシャルWEB
<http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

- 開催日：平成18年11月10日（金）～11日（土）
- 会場：九州大学 国際ホール（福岡市東区箱崎）ほか
- テーマ：「国産材積極活用のリアリズム

～持続可能な木の家づくりのために～

「木の家づくり」がブームといわれ、建築雑誌には「木の家」「国産材」「近くの山の木」などの文字が踊っています。しかし、現実の木材自給率や国産材の供給量を見てみると、さほど変化していません。「木の家づくり」ブームでも国産材の供給量を増やせない、山が潤わない問題点は何だろうか？

「国産材を使った家」に「明らかなメリット」があれば、「住まい手」に「国産材でなければダメ」という意識が生まれ、国産材の取り合いになるはずです…。シカシ…。

国産材需要の底上げのためには、以下のシステム構築が必要です。

- ① 国産材ならではの価値を作り出す努力
- ② 森林資源を徹底的にかつ多段階に使い尽くすカスケード利用が前提の総合的な森林経営
- ③ これが「ビジネス」となる「出口」をつくり「山」と「町」を結ぶ業として成り立つこと

作り手が国産材をもっと使うようになるためには「（建築）用材として極める」ということです。作り手が含水率や強度、色味について「国産材ならではの価値」を追求して、こういう品質の材が必要なんだということを「山」に要求し、山側はそれに応えて「用材として極める」ということです。同時に、高品質の材にはこれだけのコストがかかりますと、作り手に伝えてゆく必要が出てきます。間伐材や曲がり材、台風被害材なども含めて、無垢材・集成材・バイオマスなど木材利用を単体で考えず、「出口」を確保した上で相乗効果を考えて「ビジネス」として成立させるということなのです。

「山」だけにわが国の森林育成や保全を任せておける状況にはありません。「山」から「家」（＝「町」）までに関わるすべてものが、現状を量的にとらえ、目標を明確にし、狭い選択肢に止まらない多様な展開が必要です。ともすればこれまでの「地域材住宅運動」は「情緒主義」にたよりすぎ、「甘え」や「もたれあい」を生むこともありました。「地域材住宅」を次のステージにステップアップさせるには、森林の環境的意義を捉えながらも国産材利用を「業」として成立させていく決意・発想・計画に基づいたシステムづくりが必要だと考えます。単に「環境のため」と情緒主義に唱えるだけではなく、その「業」を責任をもって前に進めてゆくに、林家・製材・流通・設計者・工務店がひとつのシステムをつくることが求められます。

第6回フォーラムでは、これらの課題をふまえて、国産材積極活用のリアリズムをテーマに「地域材住宅」事情に詳しい野池政宏氏（住まいと環境社・代表）と三浦祐成氏（「新建ハウジング」・編集長）のお二人の基調対談と、九州大学村瀬教授、建築構造設計士・川崎薫氏、建築家・永井修文氏を交えて、持続可能な「木の家」造りの方向性を大いに議論したいと思っております。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

- 主催：NPO 法人九州森林ネットワーク ■共催：新建ハウジング社
- 宿泊：三井アーバンホテル福岡
- 参加費 フォーラム参加費 1,000 円（宿泊・交流会費別途）
- プログラム 10日（金）14時 現地見学会（JR二日市駅集合）
18時 交流会（三井アーバンホテル福岡）
11日（土）総会・フォーラム（九州大学 国際ホール（福岡市東区箱崎））
- お問い合わせ・お申し込み
NPO九州森林ネットワーク事務局（㈱トライウッド内）
Tel 0973-55-2656

